

屋外展示

水道創設時の石額

水道創設に深く関わった人物の書いた石額を資料館正面に展示しています。この石額は牛田水源地の施設に掲げられていました。



▲ 伊藤博文・筆（当時の内閣総理大臣）



▲ 児玉源太郎・筆（当時の陸軍中将）

資料館別館（被爆建物）と大正時代のポンプ

資料館別館は、昭和のはじめに建築された量水室を改修したもので、現在は学習ルームとして利用しています。

別館前には、大正時代に牛田水源地に設置されたポンプを展示しています。



猿猴橋水管橋（被爆建造物）

水道創設時に猿猴橋の上流に架設された水管橋の一部を展示しています。



広島市水道資料館

HIROSHIMA CITY WATERWORKS MUSEUM

開館日

- ・3月～11月の水・金・土・日曜日
及び祝日・休日
- ・水道週間（6月1日～7日）
- ・夏休み期間（7月21日～8月31日）

開館時間

午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

入館料

無料

所在地

〒732-0068
広島市東区牛田新町一丁目8番1号

お問い合わせ

広島市水道局 企画総務課
〒730-0011 広島市中区基町9番32号
TEL (082) 511-6808 FAX (082) 221-5320
ホームページ

[広島市水道局](#) [検索](#)

アクセス

アストラムライン

「牛田駅」下車
徒歩約10分

バス

「東区スポーツセンター前」または
「東区スポーツセンター入口」下車
徒歩約10分

※駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関をご利用ください。



青矢印に沿って、テニスコート側からお入りください。

広島市の水道は、明治31年（1898年）8月25日に創設され、翌32年（1899年）1月1日に給水を開始しました。昭和20年（1945年）8月6日に世界最初の原子爆弾で壊滅的な被害を受けた際にも、一時も断水することなくこれを克服し、今日まで水を送り続けています。

広島市水道資料館は、大正13年（1924年）に建築された送水ポンプ室を改修したもので、館内外の展示により広島市の水道やその歴史についてわかりやすく学べるようになっていました。また、この建物は被爆建物として登録されているとともに、近代化産業遺産にも選ばれています。

来て、見て、感じてみよう!

● エントランス

資料館中央の吹き抜けに、水の流れをイメージした幻想的なオブジェを飾っています。



水の流れ (オブジェ)

● レストスペース

映像モニターを備えた休憩スペースです。ゆっくり展示内容を振り返るのに最適な空間です。



レストスペース

● 災害への備え

広島市の水道施設などの災害対策を紹介します。家庭での備えも学べます。



災害への備え

● 家庭の水道

家庭での水の使い方や、節水方法を学びます。



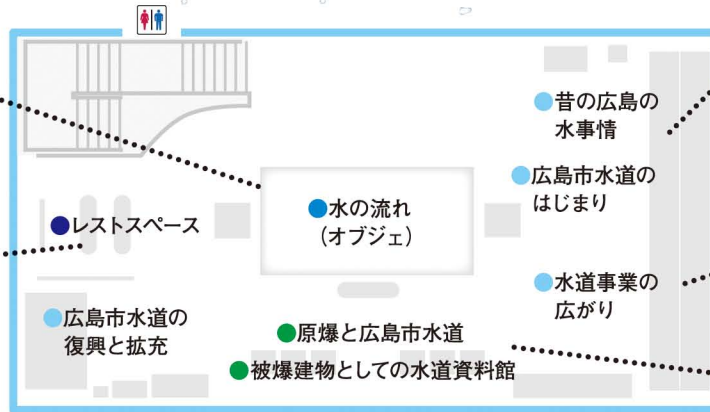
家庭の水道

● 安全でおいしい水が届くまで

川の水が水道水となり、家庭や学校のじゃ口が届くまでの道のりを学びます。

2階 広島市水道の歴史

広島市水道の歴史を学びながら、平和についても考えるフロア



広島市水道の歴史



貴重な水道資料展示



原爆と広島市水道

● 広島市水道の歴史
明治31年に日本で5番目の近代水道として創設された、歴史ある広島市水道の歩みを学びます。

● 貴重な水道資料展示
水道創設以前からの水道にまつわる道具や水道管などを時代ごとに展示しています。

● 原爆と広島市水道
原爆投下後も広島のために命の水を送り続けたお話などを紹介します。

● 被爆建物としての水道資料館
原爆投下時のこの建物内のできごとや、被爆建物の保存について紹介します。



クイズやスタンプラリーに挑戦してみよう!
素敵なプレゼントももらえるよ。

1階 広島市水道と私たちの暮らし

広島市水道と私たちの暮らしについて、楽しく学べるフロア



太田川の恵み



広島市航空写真

● 太田川の恵み
源流から下流までの自然やいきものなどを通して、太田川の恵みについて学びます。

● 広島市航空写真
床一面に広がった航空写真で、豊かな自然と水に恵まれた広島を空から見てみよう!